

反射材 身につけ光らせ 事故減らせ

運動の重点

1

子供と高齢者の安全な通行の確保と 高齢運転者の交通事故防止

子供と高齢者の安全な通行の確保

平成29年6月末における交通事故死者数は66人、うち「高齢者」の死者数は36人で、全死者数の53.0%を占めました。

また、歩行者の交通事故死者数は22人（うち横断中11人で、60歳以上が10人）、自転車の交通事故死者数は9人（60歳以上が8人）とそれぞれ60歳以上が大多数を占めています。

- ❶ 道路を横断するときは、必ず止まって安全を確認し、無理な横断はやめましょう。
- ❷ 歩行者（特に子供や高齢者）を見かけたら十分注意し、減速・徐行・一時停止するなどの思いやり運転に努めましょう。
- ❸ 自転車に乗る時は自動車と同じ交通ルールを遵守し、傘差しやヘッドホンの使用をやめ、「自転車安全利用五則」を徹底しましょう。

平成29年6月末、原付以上の車両を運転する高齢者が第1当事者となった交通死亡事故は12件発生し、全死亡事故の約2割を占めています。

★高齢運転者の事故の特徴

- ❶ 正面衝突・出会い頭・工作物への衝突事故が多い。
- ❷ シートベルトを着用していない人が多い。
- ❸ ブレーキとアクセルの踏み間違いやハンドル操作の誤りによる事故が多い。
- ❹ 朝方から昼にかけて事故が集中している。



自転車安全利用五則

- ★ 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ★ 車道は左側を通行
- ★ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ★ 安全ルールを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- ★ 子供はヘルメットを着用

運動の重点

2

夕暮れ時と夜間の歩行中・ 自転車乗用中の交通事故防止

夕暮れ時と夜間の交通事故防止

9月は8月に比べ日没時刻が40分以上も早まり、日没後は急速に暗くなります。日没前後、17～19時の交通事故死者も、11月をピークに9月以降増加しています。

★9月以降、薄暮時（17時～19時）の死亡事故が増加

平成28年中の「9月～12月」の死者数（54人）は、「5月～8月」（36人）に比べ+18人と1.5倍に増加しており、事故類型別にみると「人对車両」が増える傾向にあります。

の
着
用
の
推
進
等

- ❶ 視認性の高い白っぽい服装や反射材を身につけるなど、車の運転者に自分の存在を“知らせる”工夫をしましょう。
- ❷ 道路を横断するときは無理に渡らず、車が止まるか途切れるまで待ち、余裕を持って渡りましょう。近くに横断歩道があるときは、少し遠回りでも、そちらを利用しましょう。

- ★ 車の運転者は、ライトの早め点灯で、歩行者等に自車の接近を知らせましょう。
- ★ ハイビームの積極的な活用で、道路の先まで見通し、歩行者等の早期発見に努めましょう。
- ★ 横断歩道は歩行者優先です。道路を横断しようとしている歩行者等がいるときは、一時停止して道を譲りましょう。



運動の重点

3

全ての座席のシートベルトと チャイルドシートの 正しい着用の徹底



平成29年6月末のシートベルト非着用死者数は9人で、このうち、6人（66.7%）は、シートベルトを着用していれば助かった可能性があります。

- 運転者は、すべての座席で、シートベルト、チャイルドシートが正しく着用されているかを確認してから発車しましょう。

運動の重点

4

飲酒運転の 根絶



平成29年6月末の飲酒運転による死亡事故は、4件発生し、全国ワースト3位であり、飲酒運転に起因する交通事故は、全事故の1.5%を占め、憂慮すべき状況にあります。

飲酒運転は、悪質な犯罪です。一人一人が「飲酒運転を絶対にしない、させない」という強い意志を持ち、飲酒運転を根絶しましょう。